

2021年3月期業績 及び2022年3月期見通し

証券コード:9058



2021.4.28



2021年3月期総括

不透明/不確実な事業環境下での柔軟かつ対応スピードを意識した取り組み

- 市況環境に左右されない事業基盤の構築
 - ・物流情報サービス事業/インダストリアルサポート事業は、非常に厳しい事業環境
 - ☑ (物流情報)貨物情報減少による事業規模縮小 → 人員配置の適正化 (IS)管理体制の適正化
 - ☑ 貨物情報獲得に向け、製造メーカーへの営業強化
 - ☑ 取得したスポット貨物に対して柔軟かつ確実なマッチング対応
 - ・ロジスティクスマネジメント事業は、コロナ禍の物量増減に対し個社ごとの物流全体最適を追求
- 事業構造改革の実施とコストコントロールの徹底
 - ・全社において適正人員配置 図 成長事業への配置転換等の実施
 - ・人材を中心としたLM事業拠点とIS事業を統合 図IS事業を基軸にした物流領域への深堀
- 長期ビジョン「はこぶ」創造に向けて、全社で推進





2021年3月期 通期業績

(単位:百万円)

	2020年3月期 2021年3月期												(+122	· 🗖 / J] /
	2020年3月期								計画値	1				
				上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比	通期見通し	計画比
売	-	Ŀ	高	80,217	83,245	163,463	72,645	-9.4%	79,640	-4.3%	152,285	-6.8%	149,000	2.2%
営	業	利	益	3,672	3,893	7,566	3,592	-2.2%	4,651	19.5%	8,243	9.0%	7,640	7.9%
		(売上高	5比)	(4.6%)	(4.7%)	(4.6%)	(4.9%)	(+0.3P)	(5.8%)	(+1.1P)	(5.4%)	(+0.8P)	(5.1%)	(+0.3P)
経	常	利	益	3,630	3,787	7,417	3,666	1.0%	4,734	25.0%	8,401	13.3%	7,770	8.1%
		(売上高	5比)	(4.5%)	(4.5%)	(4.5%)	(5.0%)	(+0.5P)	(5.9%)	(+1.4P)	(5.5%)	(+1.0P)	(5.2%)	(+0.3P)
		k主に! 期 純 ネ		2,362	2,546	4,909	2,562	8.5%	3,167	24.4%	5,730	16.7%	5,270	8.7%
		(売上高	5比)	(2.9%)	(3.1%)	(3.0%)	(3.5%)	(+0.6P)	(4.0%)	(+0.9P)	(3.8%)	(+0.8P)	(3.5%)	(+0.3P)

売上高

・コロナ禍の影響により、物流情報サービス事業/インダストリアルサポート事業の減収、連結計 ▲6.8%の減収

営業利益

・第2四半期以降各事業でのコスト低減/生産性向上に取り組み、9.0%の増益(営業利益率 5.4% (0.8P向上))

営業外収入

・コロナ関連助成金の計上 209百万円





2021年3月期 通期業績/セグメント別

(単			

											(単位	: 百万円)
			2020年3月	期			202	1年3月期			計画値	
		上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比	通期見通し	計画比
ロジスティクス	売 上 高	26,989	28,035	55,024	27,451	1.7%	27,871	-0.6%	55,322	0.5%	54,750	1.0%
マネジメント事業	営業利益	1,673	1,968	3,642	2,097	25.3%	2,500	27.1%	4,598	26.3%	4,410	4.3%
	(売上高比)	(6.2%)	(7.0%)	(6.6%)	(7.6%)	(+1.4P)	(9.0%)	(+2.0P)	(8.3%)	(+1.7P)	(8.1%)	(+0.2P)
物流情報	売 上 高	45,385	47,033	92,418	37,651	-17.0%	43,295	-7.9%	80,946	-12.4%	78,970	2.5%
サービス事業	営業利益	1,606	1,665	3,272	1,322	-17.7%	1,850	11.1%	3,172	-3.0%	2,940	7.9%
	(売上高比)	(3.5%)	(3.5%)	(3.5%)	(3.5%)	(+0.0P)	(4.3%)	(+0.8P)	(3.9%)	(+0.4P)	(3.7%)	(+0.2P)
インダストリアル	売 上 高	3,735	3,567	7,302	2,862	-23.4%	3,018	-15.4%	5,880	-19.5%	5,550	6.0%
サポート事業	営業利益	178	52	231	47	-73.7%	138	165.1%	185	-19.6%	80	132.2%
	(売上高比)	(4.8%)	(1.5%)	(3.2%)	(1.6%)	(-3.2P)	(4.6%)	(+3.1P)	(3.2%)	(+0.0P)	(1.4%)	(+1.8P)
	売 上 高	4,859	5,462	10,321	5,523	13.7%	6,192	13.4%	11,716	13.5%	11,270	4.0%
その他	営業利益	262	299	561	192	-26.7%	231	-22.7%	423	-24.5%	340	24.6%
	(売上高比)	(5.4%)	(5.5%)	(5.4%)	(3.5%)	(-1.9P)	(3.7%)	(-1.8P)	(3.6%)	(-1.8P)	(3.0%)	(+0.6P)
\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	売 上 高	-751	-853	-1,605	-842	1	-737	-	-1,580	-	-1,540	-
連結消去	営業利益	-48 -	-91 -	-140 -	-66 -	-	-69 -	-	-136	-	-130	-
連結合計	売 上 高	80,217	83,245	163,463	72,645	-9.4%	79,640	-4.3%	152,285	-6.8%	149,000	2.2%
建和口 司	営業利益	3,672	3,893	7,566	3,592	-2.2%	4,651	19.5%	8,243	9.0%	7,640	7.9%
	(売上高比)	(4.6%)	(4.7%)	(4.6%)	(4.9%)	(+0.3P)	(5.8%)	(+1.1P)	(5.4%)	(+0.8P)	(5.1%)	(+0.3P)



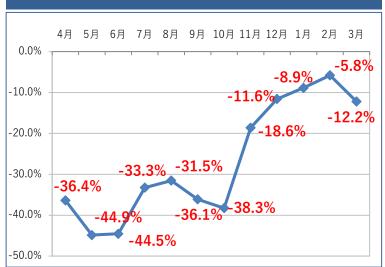


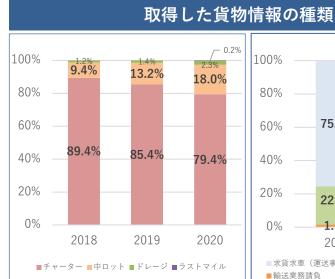
コロナ禍における物流情報サービス事業の状況

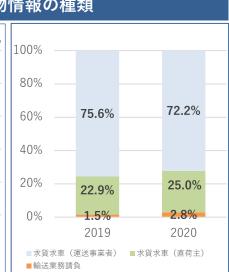
〇課題

- ・日本経済の低迷により国内総貨物量の大幅な減少により、スポット貨物需要の低迷
- ・今後の事業環境/事業展開を見据えた、ビジネス基盤の構築・領域の拡充

2021年3月期 日別貨物情報数の増減率 (前期比)









2022年3月期 市場前提

■2022年3月期 通期業績予想策定にあたり

- ・新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しや市場環境の不透明感は続くと想定
- ・物流情報サービス事業は、前年の経験を活かした柔軟性の高いオペレーションのもと、 新たなマッチング領域の拡充
- ・積み上げてきた強い財務基盤を活用して「はこぶ」仕組みの創造に向けた積極投資

■セグメント別事業環境認識

ロジスティクス マネジメント事業

・消費財/個人宅配の物量は横ばいを見込む。

物流情報 サービス事業

- ・国内輸送量の減少の影響は続くと想定。
- ・運賃単価は、前年並みを想定。

インダストリアル サポート事業

・国内製造業の先行き不透明により、人材派遣サービスは前年と同等水準を想定。

その他(海外・国内)

- ・中国は国内市場が回復。
- ・国内システム部門は開発ニーズの低迷により需要低調を見込む。



2022年3月期 通期見通し

(単位:百万円)

					2021年3月	月期	2022年3月期(予想)							
				上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比		
売	_	Ŀ	高	72,645	79,640	152,285	78,830	8.5%	84,640	6.3%	163,470	7.3%		
営	業	利	益	3,592	4,651	8,243	3,670	2.2%	4,580	-1.5%	8,250	0.1%		
	(〔売上高	比)	(4.9%)	(5.8%)	(5.4%)	(4.7%)	(-0.2P)	(5.4%)	(-0.4P)	(5.0%)	(-0.4P)		
経	常	利	益	3,666	4,734	8,401	3,720	1.5%	4,560	-3.7%	8,280	-1.4%		
	(〔売上高	比)	(5.0%)	(5.9%)	(5.5%)	(4.7%)	(-0.3P)	(5.4%)	(-0.5P)	(5.1%)	(-0.4P)		
		主にり		2,562	3,167	5,730	2,460	-4.0%	3,010	-5.0%	5,470	-4.5%		
		売上高		(3.5%)	(4.0%)	(3.8%)	(3.1%)	(-0.4P)	(3.6%)	(-0.4P)	(3.3%)	(-0.5P)		

売上高

・前年比 連結計 7.3%の増収計画

営業利益

・継続したコストコントロールの実施と、事業成長/積極投資により前年同等額で計画



2022年3月期 通期見通し セグメント別

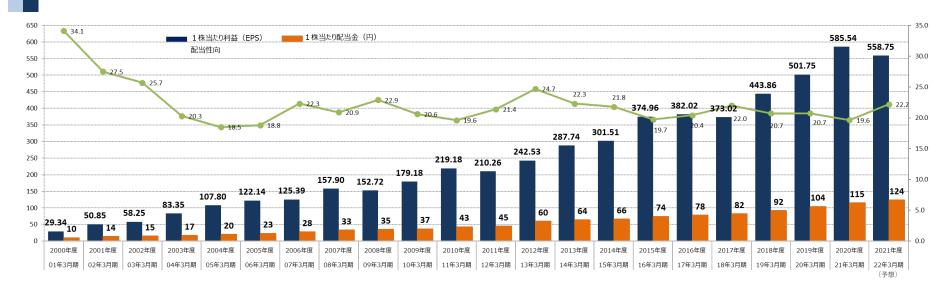
											(単位	立:百万円)
					2021年3月	期			2022年	3月期(予		
				上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比
ロジスティクス	売	上	高	27,451	27,871	55,322	26,900	-2.0%	28,170	1.1%	55,070	-0.5%
マネジメント事業	営	業系	刂益	2,097	2,500	4,598	2,010	-4.2%	2,340	-6.4%	4,350	-5.4%
	(売上高	高比)	(7.6%)	(9.0%)	(8.3%)	(7.5%)	(-0.1P)	(8.3%)	(-0.7P)	(7.9%)	(-0.4P)
物流情報	売	上	高	37,651	43,295	80,946	43,790	16.3%	47,680	10.1%	91,470	13.0%
サービス事業	営	業系	刂益	1,322	1,850	3,172	1,520	14.9%	1,860	0.5%	3,380	6.5%
	(売上高	高比)	(3.5%)	(4.3%)	(3.9%)	(3.5%)	(+0.0P)	(3.9%)	(-0.4P)	(3.7%)	(-0.2P)
インダストリアル	売	Ł	高	2,862	3,018	5,880	2,850	-0.4%	3,170	5.0%	6,020	2.4%
サポート事業	営	業系	刂益	47	138	185	80	69.9%	170	22.6%	250	34.6%
	(売上高	高比)	(1.6%)	(4.6%)	(3.2%)	(2.8%)	(+1.2P)	(5.4%)	(+0.8P)	(4.2%)	(+1.0P)
7 - 41	売	上	高	5,523	6,192	11,716	5,990	8.4%	6,290	1.6%	12,280	4.8%
その他	営	業系	刂益	192	231	423	130	-32.4%	280	21.1%	410	-3.2%
	(売上高	高比)	(3.5%)	(3.7%)	(3.6%)	(2.2%)	(-1.3P)	(4.5%)	(+0.8P)	(3.3%)	(-0.3P)
	売	Ł	高	-842	-737	-1,580	-700	-	-670	-	-1,370	-
連結消去			刂益	-66	-69	-136	-70	_	-70	_	-140	_
	(売上高	5比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ンキ ゲナ ヘニ!	売	上	高	72,645	79,640	152,285	78,830	8.5%	84,640	6.3%	163,470	7.3%
連結合計	営	業系	刂益	3,592	4,651	8,243	3,670	2.2%	4,580	-1.5%	8,250	0.1%
		売上高	話比)	(4.9%)	(5.8%)	(5.4%)	(4.7%)	(-0.2P)	(5.4%)	(-0.4P)		(-0.4P)





株主還元

2021年3月期期末配当/2022年3月期通期配当予想



株主還元方針

事業成長を目的とした積極投資を行う一方で、株主への継続的な還元/連続増配とする

今期配当/来期配当予想について

前期より11円増配し年間配当金115円(20期連続増配)、来期は9円増配年間配当金124円(21期連続増配)を計画



参考資料

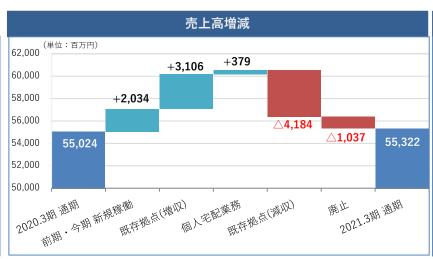




2021年3月期 業績/セグメント別

ロジスティクスマネジメント事業







〈主な増減要因〉

- 前年及び今期稼働拠点の寄与/今期新規立上げ拠点の早期安定稼働
- | 一部既存拠点の業務縮小・撤退
- → 個人宅配ニーズの高まりによる物量増

🚹 運営効率化による利益率向上





2021年3月期 業績/セグメント別 ロジスティクスマネジメント事業

■新規業務獲得・稼動状況

2020年 4月 生活衛生品・日用品カテゴリの複合センター (埼玉) / 薬粧品メーカーの自社センター稼働 (富山)

2020年11月 配送の中心拠点となる物流センター (愛知)

2021年 2月 パレット清掃機能を備えた回収デポ拠点 (神奈川県)

2021年 2月 工作機器メーカーの物流業務稼働に向けた準備室 (埼玉県)

2021年 3月 次世代物流センター(ケースピッキング業務自動化) (埼玉県) 稼働による省人化実現 (2021年6月本稼働)

┃ 「はこぶ」創造に向けた取り組み状況

- ✔ 中部/関東エリアにおける配送業務の融合による効率化
- ✔ 幹線配車業務の自動化に向けた配車システムの開発に着手
- ✔ スワップボディコンテナを活用したユニ・チャーム社/ホームロジ社2社の共同輸送による輸送効率化を実現
 - ー 車両台数削減/トラックドライバー作業負荷低減が高く評価され、グリーン物流パートナーシップ会議「国土交通大臣賞」を共同受賞
- ✓ 「はこぶ」量の増大につながるセンター運営の領域拡大と、センター運営事業の強固な事業基盤の構築
 - 新たなカテゴリ/物流領域への挑戦、エリアごとの事業会社化による圧倒的な現場力の実現



2021年3月期 業績/セグメント別 ロジスティクスマネジメント事業

▍ 次世代物流センター(ケースピッキング業務自動化)稼働による省人化実現



自動化仕組み導入

(日用雑貨メーカー)

自動化後

○自動倉庫からピッキングエリアへ、自動搬送 →30%削減

RGV (有軌道無人搬送台車) を用いて自動倉庫に商品を保管し、 AGV (無人搬送台車) を用いてピッキングエリアへ搬送

○ロボットパレタイズへ→25%削減

荷姿の異なるアイテムでも位置を把握、 パレタイズの形を計算しパレットへ自動 積み付け

○自動検品へ ○夕 の ☆ ロ 老 判

→**2名の検品者削減** 自動倉庫入庫、出庫、デパレタイズロボ

割
記庫入庫、出庫、アハレダイスログ でのピッキングの際に自動検品

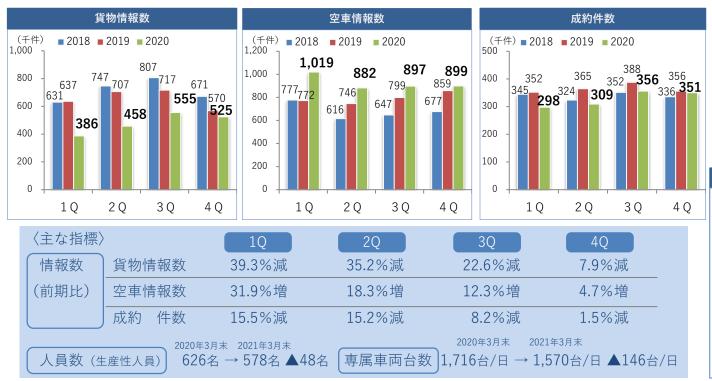
11名の省人化実現





2021年3月期 業績/セグメント別

物流情報サービス事業

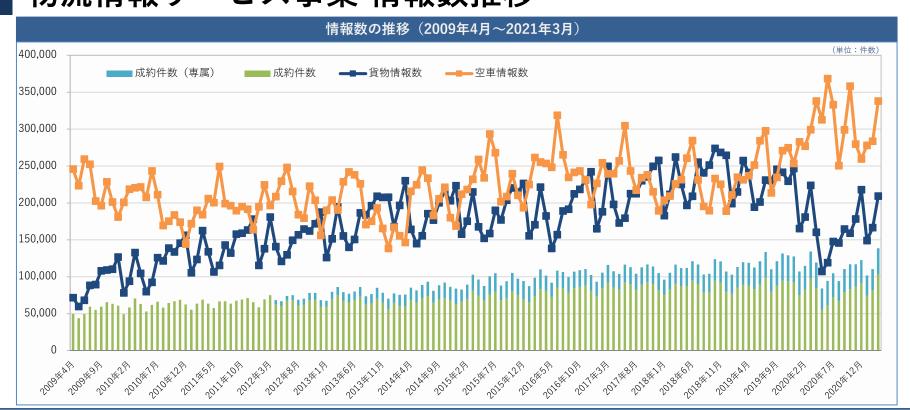




14



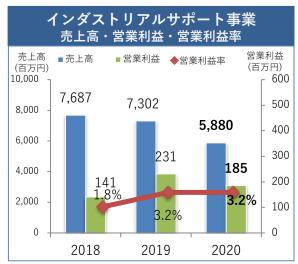
2021年3月期 業績/セグメント別 物流情報サービス事業 情報数推移





2021年3月期 業績/セグメント別

インダストリアルサポート事業・その他





📤 コロナ禍による工場非稼働/生産減少

➡ 管理人員の適正化/販管費用の見直し



〈主な増減要因〉

■ Sergent Services Pte Ltd 連結化

➡ 第2四半期以降、中国での物流業務生産回復

🔺 国内システム部門 新技術習得費用の計上

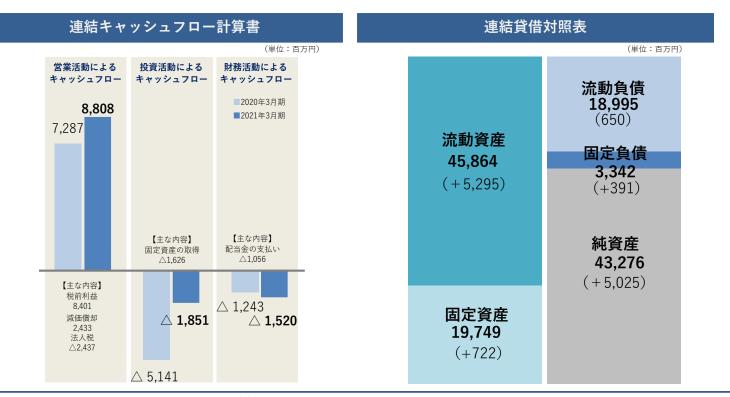
■ 為替
中国
(15.67円→15.88円/CNY)
タイ
(3.63円→ 3.44円/THB)
シンガポール
(81.07円→78.01円/SGD)

※記載は、 2019年12月末レート→2020年12月末レート



2021年3月期

キャッシュフロー及び財政状況







本資料及びIR関係のお問い合わせにつきましては、 下記までお願いいたします。



MAIL: ir_info@trancom.co.jp
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015
www.trancom.co.jp



経営企画グループ

TEL: 052-939-2023 FAX: 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。 将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

